平成28年（2016年） 4月11日（月曜日） 5面
金属産業新聞に掲載されました

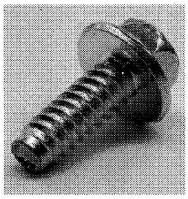
第1回 名古屋 機械要素技術展

締結ソリューション

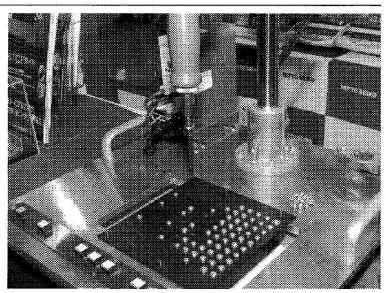
日東精工 ファスナーからロボ、検査まで

日東精工㈱（京都府綾部市、材木正己社長）は、炭素繊維強化プラスチック（CFRP）用ねじ「CFタイト」や「タップタイト2000」など、ファスナー製品から、ねじ締めロボット、検査・洗浄機に至るまでの製品を紹介して、締結ソリューションメーカーとしての技術をアピールする。

ブースでは、ファスナーを検査選別してからねじ締めロボットによる締結までの一連のラインをデモンストレーション用に構築。締結に関わる全ての製品を作れるメーカーとして、締結ソリューションをトータルで提案する。


CFタイト

「CFタイト」は、CFRPの薄板に対して低トルクで直接セルフタッピングが可能。CFRPでは難しいとされていた雌ねじレスを実現して軽量化やコスト低減に貢献する。「タップタイト2000」は、ボルト締結と同等の高い軸力を発生させる金属用セルフタッピンねじ。ハイテンボルトでのセルフタッピングも可能。摩擦係数安定剤「フリックス009」との組み合わせでトルク管理も容易に。ブース内では自社製品「NXドライバ」を使用しながら、これらファスナー製品の締結体験も可能だ。


CFタイトの締付確認も

「ねじロボ」SR566Y0-Zと振動検査装置「KiZMIL」のデモでは、樹脂用タッピンねじ「ギザタイト」のねじ締め工程と、従来は実現できなかった0・2㍉の高精度ねじ浮き検出とボス割れ検出を紹介。このほかにもマイクロバブル洗浄機「バブ・リモ」や、ねじ検査選別機MTSTOLのデモも行う。

© 金属産業新聞社 無断複製・転載を禁じます